

静岡県家畜共同育成場指定管理者評価委員会 議事録

1 開会

畜産振興課技監から開会の挨拶を行った。

2 評価方法の説明

事務局から委員に対し、評価方法について説明した。

また、本委員会の議事録及び採点結果は、要点筆記の形式で発言者・評価者を特定せずに公表することを伝えた。

3 委員長の選任

静岡県家畜共同育成場指定管理者評価委員会設置要領第5条第1項に基づく委員の互選により、梨木委員が委員長に選任された。

4 評価委員会

(1) 県からの報告（指定管理業務の概要説明）

事務局から、配布資料に基づき、指定管理者制度の概要及び業務の内容を説明した。

(2) 指定管理者からの報告（管理運営状況の報告）

指定管理者が入室し、配布資料に基づき、H30年度の管理運営状況を説明した。

(3) 質疑応答、意見交換及び評価

(2)の内容について、委員からの質問について指定管理者が回答した。

その後、委員間での意見交換を行った後、評価（評価表への記入）に移った。

(4) 集計

事務局が、各委員の評価表（採点シート）を回収し集計を行った。

結果については、「5人の委員の平均点は、52.8点（得点率94.3%）であり、総合評価は「優」である。昨年度より得点率の高い結果となった。」と報告した。

(5) 講評

委員長から県及び指定管理者に対して、講評を行った。

<評価できる点>

1 施設の利用状況

- ・ 繁殖管理について積極的な取組がされている。
- ・ 目標を上回る預託を実現。
- ・ 目的に沿った運営がされており、利用状況が良好である。

2 公の施設としての適切な運営

- ・適切に運営している。
- 3 収支計画及び実績
 - ・予算は適切に執行されている。
- 4 利用料金の設定
 - ・利用料金を8円値上げし(594円→602円)、利用者ニーズを捉えつつ、健全経営を行った点は評価できる。
- 5 管理経費縮減の取組
- 6 職員の人員配置、職員教育の状況
 - ・安全管理の講習会はよい。
- 7 危機管理体制の構築(労働安全の確保、災害等緊急時の対応)
 - ・事故発生時のマニュアル化の作成。
 - ・集中力維持のための適度な休息時間の確保。
- 8 育成牛の管理状況
 - ・預託推進員の設置。
 - ・仕上がりがとても良く満足している。
- 9 草地の維持管理状況
 - ・草地利用の拡大。
 - ・前回と比較して良い状態となっていた。
- 10 施設等の維持管理状況
- 11 地域社会との協調及び県の事業、試験研究に対する協力。
 - ・行動量計を用いた疾病発見技術の開発への協力。
- 12 畜産農家の利便性向上の取組
 - ・入退牧(搬入・出)の支援。
 - ・受け入れ態勢の確保を含め取り組みしている。
 - ・農家の要望に適切に応えてくれる。
- 13 畜産農家の視点に立った業務の改善や新たな事業展開
 - ・農家ニーズを掴んでいること。
- 14 要改善事項に対する改善状況
 - ・改善措置が講じられていた。

(6) 要改善事項

講評の結果、今年度の要改善事項は以下の項目となった。

○職員の人員配置、職員教育の状況

- ・預託頭数が増加傾向にあり、職員の労働強度が増しているため、(受託頭数の増加に応じた)職員配置(人員の確保及び費用負担)が課題。

○草地の維持管理状況

- ・鹿による牧草の食害及びピロプラズマ病(放牧病)を防止するため、引き続き鹿防護柵の補修・点検をお願いしたい。